

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki

ふくし“きらり人。”
第2弾!



ふくし“きらり人。”第2弾の任命となった、特別養護老人ホーム成華園（日立市）の職員のみなさん（8～9頁に詳しく掲載）

Contents

- 2～3 ・新年のご挨拶
・福祉サービス苦情解決研修会開催 ほか
- 4～5 特集
広がれ子ども食堂の輪
- 6～7 地域福祉活動レポート
取手市立障害者福祉センター
「つつじ園」「ふじしろ」
喫茶「カフェ・ウェルカム」（取手市）
- 8～9 ふくし“きらり人。”
特別養護老人ホーム成華園（日立市）の
職員のみなさん

- 10 市町村社協職員リレートーク
- 11 information
- 12 わかち合おう小さな善意

はんどちゃんを紹介

昨年20年目を迎えたはんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり
県民運動」のキャラクターとして、県内の地域づくりに邁進して
きました。
今年もみなさんと一緒に「幸せなまちづくり」をすすめていきたく
と思いますので、よろしくお願いいたします。

ふくし“きらり人。”とは一
福祉の仕事に対するイメージ
アップを図るため、福祉施設や
事業所で働く方や福祉を学ぶ
学生のうち、きらりと輝く人物
を“きらり人。”として任命し
ます！今後、“きらり人。”には、
県社協の実施する事業を通じ
て福祉の魅力を伝えていただ
く予定です。



新年のご挨拶

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
会長 関 正 夫



新年明けましておめでとうございます。

日頃から、茨城県社会福祉協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、急速に少子高齢化が進行する中、地域でのつながりの希薄化もあり、高齢者が高齢者を介護する老々介護や認知症問題をはじめ、増加する単身高齢者への支援や子どもの貧困問題、子育て支援や障害者支援など、様々な生活課題や福祉課題が複雑、深刻になっております。

これらの課題に対応するためには、一人ひとりが、「支え手」「受け手」という関係や、世代や分野を超えてつながり、暮らしや生きがい、地域を共に創っていく「共生社会」の実現をめざしていかなければなりません。

また、福祉・介護分野の人材不足は、本県も含め全国的に深刻な状況が続いており、安定した福祉サービスを続けるためには、人材の養成・確保にも取り組まなければなりません。

こうした中、私ども茨城県社会福祉協議会は、福祉に関わる関係機関・団体の皆様と連携を図り、長年培ってきた「茨城型地域包括ケアシステム」の充実などにも取り組みながら、「だれもが その人らしく安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指して、さらなる精進を重ねてまいりたいと存じます。

今後とも、皆様方の力強いご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして、明るい笑顔の多い年となりますように、ご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

第67回茨城県社会福祉大会を開催しました

11月8日、茨城県・茨城県社会福祉協議会・茨城県共同募金会の主催により、常総市地域交流センターにおいて「第67回茨城県社会福祉大会」を開催しました。

当日は、オープニング・アトラクションとして、地元常総市の「とんだやばやし」が披露されました。

記念講演では、元吉本芸人のWマコト氏による「人を輝かせる、喜ばせるコミュニケーション」と題して、御講演いただきました。

式典では、686個人・団体の皆様が、県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰・感謝、県共同募金会会長表彰を受賞されました。

受賞者の皆様の御功績と御苦勞をたたえますとともに、今後ますますの御活躍をお祈りいたします。



関会長挨拶



大会宣言読み上げ

各種事業などのご案内

茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度改正のご案内

県社協では、民間社会福祉施設職員の福利増進を図り、社会福祉事業の振興に寄与するため、加入職員が退職した際に退職金を給付する事業を、昭和47年3月から、実施してまいりました。

しかしながら、公務員や福祉医療機構の退職金制度が改められる中で、本制度の給付金の配分についていくつかの課題も生じてきたことから、平成27年度から検討委員会を設置し、他県の状況の調査や事業主に対するアンケートを実施するなどして課題解消に向けた検討を行った結果、平成30年4月1日から制度改正を行うことといたしました。

改正の内容等について、詳細を知りたい福祉施設事業所の経営者様は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問 福祉事業部 TEL：029-244-3147

平成29年度 福祉サービス苦情解決研修会開催のお知らせ

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスの利用者等からの苦情に適切に対応するため、事業所の福祉サービス苦情解決責任者等を対象とした、苦情の現状や解決方法についての研修会を開催しています。

今年度は、平成30年2月22日（木）に、小美玉市小川文化センターアピオス大ホールで行う予定です。

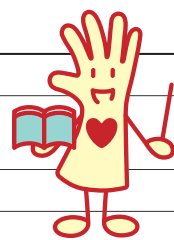
研修内容や参加申し込み方法につきましては、1月下旬に茨城県社会福祉協議会のホームページ（<http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>）で詳細を掲載いたしますのでご確認ください。

問 福祉事業部 TEL：029-244-3147

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業のご案内

「福祉施設職員等研修ガイド」（平成30年1月～2月開催予定分）

1月	29日～30日	ファシリテーション研修 ～会議の進め方を学ぼう！～
	6日	社会福祉施設等管理代表者研修 ～リーダーとして自分・組織・部下のことを考える時間に…～
2月	13日	給食担当職員研修 ～タニタ式を学ぶ貴重な機会！～
	19日	アクティビティ・ワーカー養成研修 ～レクリエーションからアクティビティサービスへ～
	20日	中堅職員研修C ～中堅職員に必要な自己覚知・部下の指導方法を学ぶ～
	27日	メンタルタフネス入門講座 ～宮崎アニメから学ぶ心理分析をととして自己成長しよう～



研修の紹介 —社会福祉施設等給食担当職員研修—



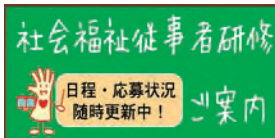
今年はタニタ式から食事・運動・休養をバランスよくとる健康サイクルを学びましょう！

（株）タニタリンクの管理栄養士を講師に迎えて、座学と運動をととして、総合的な健康を学ぶ機会になります。カロリーや塩分カットのコツや、正しい姿勢、ウォーキングの必要性について学べます。利用者だけではなく、家族の支援にも役立ちます。楽しく学びましょう！ぜひご参加ください！

※県社協会員の方は、優先的に研修申込みができます！ふるってご参加ください。

※県社協ホームページで詳しく案内しております。トップページ右側

社会福祉事業従事者研修ご案内 をクリック！





特集

広がれ 子ども食堂の輪

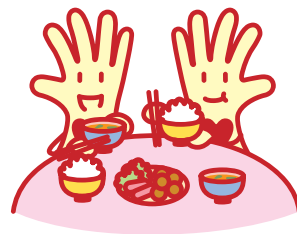


みなさん、「子ども食堂」をご存知ですか？

近年、県内各地域において、「子ども食堂」というサービスが始まっています。子ども食堂は、食を通じて地域の子どもたちが集い、交流する場を提供することを目的としているサービスです。

今回は、県内各地域において実施されている子ども食堂の中で、いばらきコープ生活協同組合（以下、いばらきコープ）が、それぞれの地域の社会福祉協議会をはじめとする関係機関と協力して行っている「ほぺたん食堂」に、焦点を当ててみたいと思います。

ほぺたん食堂を知るために、いばらきコープ生活協同組合理事の市原り子さんにインタビューしました。



ほぺたん食堂～「食」を通じて交流しよう！～

「ほぺたん食堂」が始まったきっかけ

最近、テレビやラジオ等で、「孤食」という言葉をよく耳にするとします。両親が共働きで帰ってくるのが遅いため、一人で夕食の時間を過ごすといった子どもたちが増えています。「孤食」は何も子どもたちだけの話ではありません。年々、地域には一人暮らしの高齢者が増えてきています。高齢者の中には、地域の方との交流もなく、一日中ひとりきりで過ごす方もいます。いばらきコープでは、そういった「孤食」に対してどう向き合っていくか、生協の組合員からの意見もあり検討し始めました。

また、いばらきコープでは、食育教室（「キッズマルシェ」）を50ヶ所以上で開催しており、その中で「野菜を食べない子どもの存在」や「ひとりきりで食事をする子どもの存在」「親子で食事をしながら会話をする機会が減っていること」等の実態を把握しておりました。

そうした地域における「孤食」の問題について考えていたところ、下妻市社協から食育に関する講義の依頼があり、そのつながりをきっかけに、地域みんなで食卓を囲むような取り組みが行えないかを下妻市社協と模索しました。そして、平成28年5月19日に下妻市社協が運営する「コミュニティカフェぷらっとほーむ」において、「ほぺたん食堂」をオープンしました。その後も、常総市社協や結城市社協と協力し、それぞれの地域において「ほぺたん食堂」を展開し、昨年12月には土浦市社協と協力し、同市でほぺたん食堂を仮オープンさせ、今年1月から本格始動することとしています。



いばらきコープキャラクター
「ほぺたん」

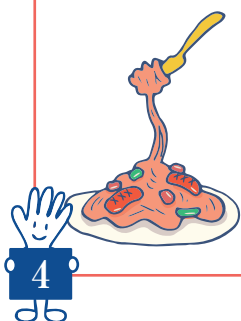
「こども食堂」ではなく、なぜ「ほぺたん食堂」なのか

いばらきコープが行っている食育教室では、子どもたちの「孤食」の問題だけでなく、一人暮らし高齢者の「孤食」の問題についても、地域における課題として感じていました。そのため、「子ども食堂」よりも広い意味で、「みんなで食卓を囲むこと」をテーマにし、いばらきコープキャラクターの「ほぺたん」から「ほぺたん食堂」と命名しました。

「ほぺたん食堂」ではこんなことをやっています

ほぺたん食堂では、「食堂以外の場でも声を掛け合うこと」を目標としています。食堂で出会った子どもたちやおとなたちがつながり、それぞれの輪が広がっていていることを実感しています。

また、日常生活場面もとても大切にしています。家庭であるような和やかな食事の光景、子どもたちが自分で食事を取り分けるところも、日常生活を意識して盛り込んでいます。



ほぺたん食堂の食材は地元の農協さんに協力してもらっています。農協さんから新鮮な野菜等の食材提供を受け、それを運営スタッフの方々が調理します。調理している間、子どもたちは宿題をやったり、他の子どもたちと遊んだり、おとなと話したり、ボランティアの学生から勉強を教わったりしています。

ほぺたん食堂は、食を通じて地域のみなさんが集い、つながり、ふれあえる場所です。これからも地域のみなさんが集いたくなるよ



うな居場所となるように、さまざまな工夫を凝らしていきたいと考えています。また、多くの方にこの活動を知っていただき、地域のみなさんとともに盛り上げていければと思っています。

市原理事、お忙しいところインタビューにご協力いただきありがとうございます！



いばらきコープと協力して「ほぺたん食堂」を実施している市社協さんから一言



社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 田中さん、倉持さん

月に1度、毎週第3木曜日17時～19時まで実施しています。初回は参加者が少なかったですが、今では参加者も増え毎回来られる方もいます。老若男女を問わず、ほぺたん食堂を通じて、温かい食事と団欒の場を提供します。誰でも気軽にお越しいただけるような場づくりをしていきます。

社会福祉法人 結城市社会福祉協議会 遠井さん

平成29年9月から「ゆうき子ども食堂の会」ボランティアのみなさんが、毎月第3金曜日に実施しています。現在、1ヶ所のみの実施ですが、今後、開催場所を増やす予定です。まずは、気軽にほぺたん食堂にお越しいただき、食堂の雰囲気を感じてもらえたらと思います。

社会福祉法人 土浦市社会福祉協議会 赤根さん

本市でもほぺたん食堂を始めるため、市原理事やいばらきコープのみなさんと協議を重ねてきた結果、やっと昨年12月11日にプレオープンとなりました。今年1月から当面月1回、本市総合福祉会館で開催することになりますが、これから市民のみなさんの協力をいただき、開催場所を増やしていこうと思っています。



取手市立障害者福祉センター 「つつじ園」「ふじしろ」 喫茶「カフェ・ウェルカム」

Volunteer × Bits × Card ボランティアの新しいカタチ

みなさんは「ボラビカード」をご存知でしょうか。

これは、「ボランティア」「ビット (Bits・少しの)」「カード」を掛け合わせた造語「ボランティアビットカード」の略で、「空いた時間を利用してボランティアを行い、ちょっとずつ地域のために貢献しませんか」という考えのもと、2016年10月から取手市社会福祉協議会が発行しているカードです。現在では、取手市立障害者福祉センター「つつじ園」と「ふじしろ」、また喫茶「カフェ・ウェルカム」で利用することができます。両施設の運営を行っている取手市社協の嶋村伸幸さんはボラビカードの発行を次のように振り返ります。



取手市社会福祉協議会の
嶋村伸幸さん

「『ボラビカード』発行のきっかけは、世田谷の商店街『えるも〜る烏山』で発行しているカードでした。視察に訪れた際に、地域活動や買い物時にオリジナルのカードにポイントを付与して、そのポイント数に応じて加盟店でお買い物ができる仕組みとなっていたのです。そこで、この取手市でも地域共生ツールとなりえる、『ボラビカード』を思いつきました。ボランティアはそれ自体が立派な社会貢献です。そ

れをポイントカードという形で『見える化』することで、それに『付加価値』（社会貢献）がつくと考えたのです」

ボランティアでポイントが貯まる?! ボラビカードの仕組みとは

ボラビカードは、ボランティアを行うたびにポイントが貯まるシステムで、半日の活動で10ポイント、一日で20ポイント、商品の購入やカフェでの飲食の際は、100円につき1ポイントが加算されます。満点の500ポイントが貯まると、善意銀行を通して「つつじ園」あるいは「ふじしろ」のどちらかに500円が寄付されるため、利用者の工賃や就労支援に貢献できるだけでなく、「つつじ園」の「さをり織り」と「カフェ・ウェルカム」で利用できる無料コーヒー＆紅茶チケット5枚分（500円相当）がプレゼントされます。さらに、1,000ポイントを貯めるとオリジナルの「ボラビTシャツ」が受け取れるという仕組みです。

「これまでも月曜日から金曜日まで、多くの方にボランティアに参加していただいていたのですが、ボラビカードを発行してからは、少しずつですが、新しく参加してくださる方も増えてきました。また、ボラビカードがきっかけとなり、以前に比べて職員とボランティアの方との会話が増えたと実感しています」と語るのは、「つつじ園」の本橋宏美さん。

ボラビカードは、事務室で職員の方に手渡し、専用端末機を通してポイントを付与する仕組みとなっているため、カードがコミュニケーションのツールにも役立っているのです。

取手市内の中高生を対象にした「夏ボラビ!」

さらに、ボラビカードのキャンペーン企画である「夏ボラビ」について、同施設の濱田正之さんは今回の企画趣旨を次のように語ります。



「つつじ園」の濱田正之さんと本橋宏美さん



ボラビカードで1,000ポイントを貯めるともらえるオリジナルの「ボラビTシャツ」

「今年の夏は、より多くの学生ボランティアの方に参加していただきたいの思いから、取手市内の中高生を対象に『夏ボラビ』を企画しました。これは、1回の参加で100ポイントを付与して、5回の活動でオリジナルの『ボラビTシャツ』をプレゼントするという試みです。各学校を回ってPR活動を行うことで、のべ42名の学生に参加していただきました。また、現在は軽作業を中心にお手伝いをお願いしていますが、ときには畑作業、散歩などの活動も行っています。今後こうしたみなさんの『得意分野』を存分に発揮していただきたいですね」

取材日の8月25日（金）は「夏ボラビ」の最終日。ボランティアに参加していた藤代紫水高等学校3年の鶴町美友さんと猪諒子さんは次のように一日を振り返ります。

「学校でボランティア募集のチラシを見て参加しました。今日は、利用者みなさんが私たちに心を開いてくれて、とてもフレンドリーに会話ができました。またボランティアに来ようと思います!」「障害者の施設と聞くと正直、閉鎖的なイメージがありましたが、実際ボランティアをしてみると、利用者みなさんとのコミュニケーションをとるのが楽しかったです」



利用者と一緒に軽作業を行う
東洋大学附属牛久高等学校の生徒



夏ボラビ最終日はみんなで楽しく
「流しそうめん」を行いました♪



夏ボラビで「さをり織り」を体験する
江戸川区園取手高等学校の生徒



オリジナルの射的で利用者さんと一緒に
盛り上がりしました!

同じくボラビカードを導入している「ふじしろ」の平嶋浩司さんは、運営している「カフェ・ウェルカム」での利用状況について、「現在、ボラビカードは老若男女問わず、多くの方々に利用していただいています。今後は、より多くの若い方々にもご利用いただくことで、この場所を地域交流の拠点としていきたいですね。そのためには、たとえば、学生の皆さんと一緒に新メニューを考案するなど、新たな試みも行っていければと思っています」と今後の展望を熱く語ってくれました。

「カフェに初めてきてくださるお客様には、必ずボラビカードの説明をさせていただきます。その際に、『利用者の皆さんの力になれば、喜んで協力させていただきます!』といってくださいる方もいらっしゃいますね」と語るのは、スタッフの佐久間優子さん。

このように、地域福祉活性化の起爆剤となりつつある「ボラビカード」。これまでとはまた違った新しいボランティアの姿がここにはありました。



「夏ボラビ」に参加していた藤代紫水高等学校3年の
鶴町美友さん（右）と猪諒子さん（左）



「カフェ・ウェルカム」のスタッフ佐久間優子さんと
「ふじしろ」の平嶋浩司さん



開放的な「カフェ・ウェルカム」。店内では、
飲食はもちろん、近隣施設の手作りの品が購入できる。



深い味わい「カフェ・ウェルカム」のオリジナルコーヒー。
ボラビカードで500ポイント貯まると無料
コーヒー＆紅茶チケット5枚分（500円相当）が
もらえます。

ふくし“きらり人”

題字：竹下 由惟



今回のふくし“きらり人”

竹下由惟さん 小野大希さん 益子慎司さん

特別養護老人ホーム 成華園（日立市）

今回のふくし“きらり人。”は介護の現場からお届けします！

益子さんは管理栄養士として、竹下さんと小野さんは介護職として、日々、利用者の方と向き合っています。

3人の中で最も成華園での勤務が長い小野さんは、「大学を卒業して働き始めた時は、勤務に慣れる事に必死だった」振り返ります。今年採用された竹下さんも勤務に慣れる事に必死だと言います。

しかし、誰もが過酷なイメージを持つ介護の仕事ですが、3人からは、その辛さは微塵も感じません。むしろ、楽しんでいるようにも感じます。

益子さんは、成華園で働く前から福祉施設に関わりのある仕事をしていました。

そこで出会った利用者との出会いから「もっと寄り添える仕事がしたい」と、施設職員として勤務を始めました。

益子「ここでの勤務を苦に思ったことはないですね。仕事自体を楽しんでいますから」

話を聞き進めると、その気持ちは3人とも共通しています。

小野さんが介護の道に進んだのは施設見学で成華園に来たことがきっかけでした。

小野「両親から介護職が向いているとの勧めもあり、施設見学で介護の3Kのイメージを取り払えたというのが大きかったです」

竹下さんは、大学で心理福祉を専攻した後、初任者研修の実習で訪れた成華園での経験から、「ここで働きたい」と決めたそうです。

竹下「利用者との交流は楽しいですね。おばあちゃん（利用者）から、笑顔がいいねと言われていて、利用者の方が大好きなので、笑顔になっちゃいます」

それぞれの立場で感じる福祉の現場、福祉への思いを語ってもらいました。





利用者との時間を大切にすること

益子「わたしの仕事は厨房管理や食事を作っているだけではなく、利用者の声に耳を傾け、現場をみるようにしています」

小野「利用者との時間を大切にするようにしています。かつて食堂を経営していた利用者の方と餃子を作ったりしたこともあります」

益子「利用者の方や職員が餃子を作っていると、周りの人も興味を持ち始めて、とてもいい雰囲気でした」

竹下「わたしは利用者の方が大好きなんです。だから、常に

笑顔で接するし、利用者の方との時間を楽しく過ごしています」

小野「仕事と思うとどうしても感情が顔に出ると思います。そうすると利用者の方が欲求を言いづらい雰囲気を作ってしまうので、仕事と思わず楽しむようにしています」



福祉の仕事はチームワーク

益子「利用者の方がご飯を食べる量が減ってきたので、どうかしてください!とか、介護職の方からの要求は急だったりますんですけど」

小野「それは、益子さんを頼りにしているからですよ」

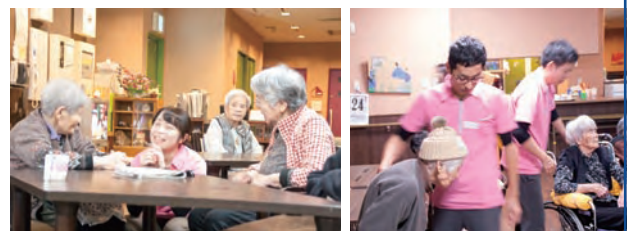
益子「急な要求であっても、職種の垣根を越えて相談してきてくれることは嬉しいです」

竹下「利用者の方の生活を成り立たせるためにはいろいろな知識が必要で、益子さんだけでなく看護・栄養の方の力を借りながら仕事をしています」

益子「福祉の仕事はそういうチームワークが大事ですね。チームワークが作れる人なら、福祉の仕事に向いていると思います」

小野「抱え込まないで人を頼ったり、情報の共有ができたりする人ならできると思います」

益子「現場に近い介護職の要望は叶えてあげたいけれど、介護・看護・栄養の3職種が納得したうえで利用者に対応することが大事で、この仕事で大変な部分だと思います」



やっぱり人が好き!

小野「1日中立って仕事をしていることが多いので、身体を動かすことが好きな人がいいと思います」

益子「介護の現場に向いているのは、人が好きなことは重要なと思います。小野さんや竹下さんを見ていると、本当に人が好きなんだと感じます。」

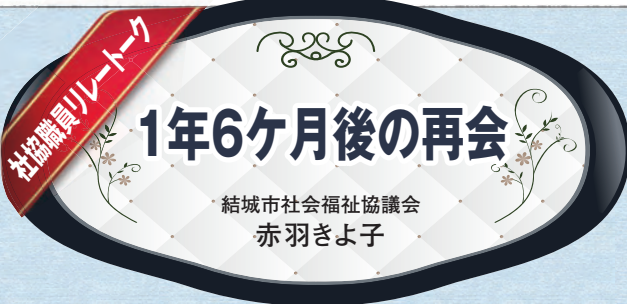
竹下「利用者の方からは笑顔で話しかけてくれるから、いろいろ話しやすいと言われるから、そういう職員でありたいと思って仕事をしています」

小野「介護イメージはいろいろあると思いますが、わたしは実際に施設を見学してイメージが変わりました。ぜひ施設を見に来てほしいです」

益子「実際に施設を見てほしいですね。学生さんは実習で1週間ほどいるだけでイメージが変わったと、口を揃えて言います」

★★★ふくし” きらり人。” 募集中! ホームページで確認! ★★★





今年度4月から週3日は外での仕事となり、事務所にいるのは火・木曜日だけなのにタイミング良く、下妻（市社協勤務）で同じ歳の人から「しばらく。元気？居て良かった。」との電話が入り「リレートークお願い。断った人いないってさ。」とあっさりと。思わず「わかったよ。」と返事したものの『本当か』と…。

その数日後、県社協の海老根さんから連絡が入り、『本当だ』と実感。さて、何を書いたらいいのだ？…と考えながらいつの間にか9月中旬になってしまった。そう思っているうちに悩みや心配が次から次へと“(-”-”-”)

私は毎朝出勤前に、ジョギングするのが日課。しかしある朝、走る気持ちがあっても足が出なく、涙を流しながら歩いている自分が居ました。10年も一緒に暮らしている猫（名前はアシュレイ）が体調を崩し、水も飲まなくなってしまう、息子が病院へ連れて行ったところ、一言「もう生きられないかも」と。ガン〜それからというもの頭

の中はその事ばかりが…そうしているうちに、今度は突然娘が「私1年半アメリカに行くことにしたから。」というラインが入りまたまたガン〜。彼氏ともう2年以上一緒に住んでいて、30歳を過ぎやと籍を入れ結婚の話まで進んでいるやさきにこんな話に。「結婚だけが人生じゃないから。」とケロッと話す娘。今の若い人の気持ちがわかりません。毎日何で？何考えているんだ？と悩み、涙を流しと、大変な日々を過ごしました。

でも、日が経つにつれアシュレイも少しずつ元気になり、私の気持ちも変わり、1年半は確かに長いし、その間にはいろいろあると思いますが、娘と再会した時に『おかん若くなったね。ハツラツしている。』と言われるよう、娘に負けないよう努力していこう、と気持ちを切り替えました。誕生日には、大相撲筑西場所を前から5列目で稀勢の里をバッチリ見ることができたし、子ども達から、マイナスイオンドライヤーや、オーブントースターをプレゼントしてもらったり、（主人は知らん顔。こんなもんだ）悪い事ばかりでなくたまには良いこともあります。これからは、自分で楽しみを見つけ、1年6ヶ月後には、家族全員と猫のアシュレイが幸せに再会できることを祈るだけです。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料（1名あたり）

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30～17:30 (12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

INFORMATION

お知らせ 第22回茨城県健康福祉祭 いばらきねんりん文化祭 を開催します!

シニア世代の芸術の祭典「わくわく美術展」を開催します。

日本画・洋画など絵画全般をはじめ、書・写真・彫刻・工芸などを含めた幅広い分野の作品を募集し、入選作品を展示します。

■開催日時

平成30年2月17日(土)
から2月23日(金)

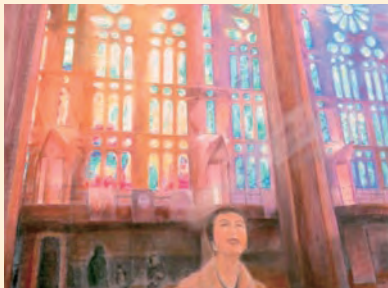
■会場

茨城県立県民文化センター

*「児童画コンクール」

優秀作品の展示も併せて行います。

皆さまのご来場をお待ちしています。



平成29年度茨城県知事賞受賞作品(洋画)



美術展の様子

問 茨城わくわくセンター
TEL: 029-243-8989

募集 「高齢者はつらつ百人委員会」 の委員を募集しています!

高齢者自らが地域の高齢者を対象に健康づくり、生きがいづくりに関する事業を、企画し実施する委員会です。ぜひご応募ください。

■応募資格

県内に住んでいる概ね60歳以上で、委員会の活動に出席できる方。

※委員として5期10年務めた方を除く。

※地方公共団体の長及び議員は除く。

※報酬・交通費はなし。

■任期

平成30年4月から
平成32年3月末日

■応募方法

はがきに住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・電話番号を明記し、2月28日(水)まで(当日消印有効)に申し込んでください。

※応募多数の場合は、募集期限前に募集を締め切ることがあります。

問 茨城わくわくセンター

TEL: 029-243-8989

FAX: 029-244-4652

〒310-8586 水戸市千波町1918

募集 食品を寄付してください!

生活困窮者支援団体等が安定的に食品を確保できるようにするため、NPO法人フードバンク茨城と連携し、茨城県総合福祉会館の1階に「きずなBOX」を設置しています。

家庭で余っている食品を「きずなBOX」に持ち寄っていただき、集め

られた食品などをフードバンクが回収し、福祉団体や施設、市町村社協を通じて生活困窮家庭などに配分しています。

皆様のご協力をお願いいたします。

■食品などをお持ちになる際の注意事項

*食品は常温管理できるもので未開封、賞味期間が2か月以上残っているものをお願いします。

*生活困窮者への支援に必要な、缶詰・レトルト食品などに食べられる「おかずになる」食品が不足しています。

これまで、多くのみなさまにご協力をいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。



寄付された食品



1階に設置しているきずなBOX

茨城県総合福祉会館 ご利用案内

茨城県総合福祉会館のコミュニティホール(定員296名)や各種研修室は、一般の方にも貸し出しを行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

また、駐車場の混雑状況はホームページでご案内しておりますので、ご来館の際の参考としてください。

茨城県総合福祉会館

検索

〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548



わかち合おう小さな善意 ～みなさまからのあたたかいご支援を紹介します～

平成29年8月～平成29年10月 善意金等の預託と払い出し状況（敬称略）

善意金

預託者名	金額（円）
丸大食品(株)	14,063
匿名	1,000,000
合 計	1,014,063

交通遺児福祉基金

預託者名	金額（円）
茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会	100,000
つくば自動車整備専門学校	125,000
合 計	225,000

善意品

預託者名	善意品	払出先名
常備労組 水戸支部	タオル 42 枚、ハンドタオル 6 枚、布巾 1 枚、 雑巾 31 枚、漂白剤 1 本、液体洗剤 3 本、粉 洗剤 16 箱、風呂場用洗剤 1 本（詰替 5 本）、 固形石鹸 63 個、液体ハンドソープ 1 本	県内社会福祉施設
早川ぶどう園	ぶどう狩り招待 27 名	県内社会福祉施設
リスカ(株)	チキンカレー 24 個入り 2 箱 コーンポタージュ 24 個入り 2 箱	県内社会福祉施設



茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会



つくば自動車整備専門学校



常備労組 水戸支部

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名

土井裕美／（一社）茨城県自動車整備振興会／高柳美智子／常陽ボランティア倶楽部
／大和ハウス工業(株)竜ヶ崎工場／野木理三郎／海老根こずえ／金澤百花／茨城県県北
県民センター県民福祉課地域福祉室／ミックス・ネットワーク／（一財）茨城県社会保
険協会／NPO 法人 茨城県ケアマネジャー協会／関彰商事(株)／ふうあいねっと／茨城
県保健福祉部長寿福祉課、福祉指導課／社会福祉協議会（北茨城市、大洗町、鹿嶋
市、行方市、ひたちなか市、古河市、筑西市、銚田市、龍ヶ崎市、取手市、潮来市、
小美玉市、常陸太田市、かすみがうら市、阿見町、結城市、桜川市、神栖市、守谷市）



いばらきの社会福祉
Social Welfare of Ibaraki

発行者／

社会福祉法人

茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 水戸市千波町1918

TEL.029(241)1133(代) FAX.029(241)1434

HP <http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

携帯電話で読み取るだけで
簡単に「茨城県社協HP」に
アクセスできます